

やまだんの 山田野

9

独立行政法人

国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

「認知症教室」を開催して

梅雨まっただ中、小雨がしとしと降る6月18日、第1回北陸病院市民公開講座「認知症教室」を開催しました。入院患者さん、外来通院・デイケアを利用されている患者さんのご家族に「認知症」への理解を深めて頂くための教室です。当日は、日頃当院へ協力して頂いているボランティアの方々にもお声をかけ公開講座と致しました。第1回目の公開講座で不安もありましたが、開始時間間近になると多くの方にご来場いただき、近隣の住民の方も含め56名の参加がありました。主催者としては嬉しいやらびっくりやらで、急遽資料の増刷や椅子を増やすなどの対応におわれました。

内容は、まず坂本副院長の「認知症の人を理解するために」と題した講義があり、認知症による症状や認知症を理解するための8大法則・1原則などについて説明しました。参加者は説明の一つ一つにうなずいておられました。



次いで講義の後に認知症病棟職員による寸劇を披露しました。寸劇は「物盗られ妄想」「徘徊」などの4つの場面についてそれぞれ対応の悪い例と良い例を続けて演じました。寸劇は、今回が初披露のためいろいろ心配しましたが、客席の笑い声がそれを打ち消してくれほっとしました。参加者の方々から「よかったよ。おもしろかった。あんな風にはできないけどね。」と声をかけてもらい、喜びと充実感を感じました。ご参加いただいた方々にはとても感謝しております。



認知症はまだまだ増え続けていくと予想されます。家族や周囲の人々が認知症を正しく理解し関わることで認知症の人が地域で安心して過ごせるようになると思います。これからもこのような「認知症教室」を開催し、地域の方が当院を身近に感じて気軽に相談できるような病院づくりに取り組んでいきたいと考えています。恐れ知らずにも、お声がかれば寸劇の出前も考えているのでよろしくお願い致します。

(5病棟師長 永田智雅)



血液検査室より一言

当院検査科では血液型の検査も実施しています。

血液型は400年以上前に発見され、主なものにA B O式とR h式があります。

その他にもP・Xg・MNなどがあり、現在までに約260種類が認められています。

本屋には「血液型と性格、相性」についての本が溢れていますが、因果関係があるものでしょうか？

始まりは昭和2年に東京女子師範学校の古川竹二という人が「血液型と気質」という論文を発表し、人々の間で職業や結婚相手に血液型を気にする人が現れてきました。その後多くの学者が追試をしても裏付けることができず忘れ去られました。

昭和46年に能見正比古（のみまさひこ）という人が「血液型でわかる相性」と言う本を出し、息子の能見俊賢（のみとしたか）が後を継ぎ、血液型性格判断を「血液型人間学」と呼び、その後の様々な本の原型となって広まりました。

しかしこれらの本は立証方法に問題があり、例えば根拠となっているアンケート調査にしても、実施時期、人数、対象者、アンケート方法等、肝心の調査内容の全てが明らかではありません。

巷にあふれている、例えばA型の性格と、その行動パターンの特徴の各項目を、バラバラにし、その中で自分に最も合っていると思われる項目を拾ってもらい、これを何人かに行ってみると、もし血液型性格判断が各人の性格を正しく言い当てているなら、A型の人なら皆同じ項目を拾うはずです。また性格の定義や、行動の範囲を明確にした上で、血液型と性格、行動が当てはまるケース、当ては

まらないケース、それぞれ比較検討しなければなりません。

しかし出回っている本は、根拠が曖昧で、実証の努力を行っていません。

にもかかわらずよく当たっていると多くの人は思っています。それは各血液型の特徴としての項目が、実はどの血液型の人にも当てはまるよう豊富にあげられており、誰がみても当たっているように感じてしまうのです。これでは実際当たらない方がおかしいのです。

曖昧な血液型と性格判断を真面目に信じていると、あの人はA型だからこういう性格のはずだ、などと短絡的にレッテルで人間をみてしまうことになります。

しかし血液型と性格など関係ないと、頭から否定することは科学的態度とはいえません。もし何らかの関係があるなら、血液型との相関を調べ、どのようなメカニズムで行動や性格に影響を及ぼしているかを研究すべきでしょう。

しかしそれは、きちんとした統計的データにもとづき、厳しい検証に耐え、批判のハードルをクリアーして科学的に証明されなければなりません。今出回っているのは、科学的根拠に基づいて誠実に証明されていないことが問題なのです。

根拠のない情報を科学的真実と錯覚しないよう、血液型検査を実施している者としてお願いしたいと思います。

日々の業務も、常に科学的根拠に基づいているか振り返りつつ、安心安全な医療を提供していきたいと思っています。

（臨床検査技師長 佐藤 秋雄）



3

外来担当医表

項 目	月	火	水	木	金
精神科・神経科（初診）	市川	坂本	白石	石崎	細川
精神科・神経科（再診）	石崎	白石	下畑	市川	村田
神経内科	小竹	小竹		小竹	小竹
内 科	渡辺	渡辺	渡辺	荒幡	渡辺
専 門 外 来	睡眠（初診）		古田	古田	
	睡眠（再診）		竹内	古田	細川
	神経難病	●受付・診療時間・・・8:30～11:30 ①診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。 ②かかりつけ医がある場合は、紹介状をもらってきてください。 ③睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。（水曜日午後） 【地域医療連携室 直通電話】0763-62-1950			
	重症心身障害				
	アルコール				
	もの忘れ				
	ストレスケア				

ボランティア表彰

国立病院機構創立5周年を記念して、去る4月21日、長年のボランティア活動に対する感謝の意を込めて表彰式典が開催されました。表彰された団体、個人は以下のとおりです。

（順不同、敬称略、括弧内は代表者）

あじさいの会、あんだんて、笠舞乱華、すみれグループ、たんぽぽグループ、ナントハーモニー、はまゆうの会・きさらぎ会、語り部ひまわりの会、植栽剪定（溝口豊志）、秀峰会、生け花（木戸かず子）、五東久子、坂本義夫、法話（瀧田了信）、加藤桂子



【交通アクセス】

◆交通機関

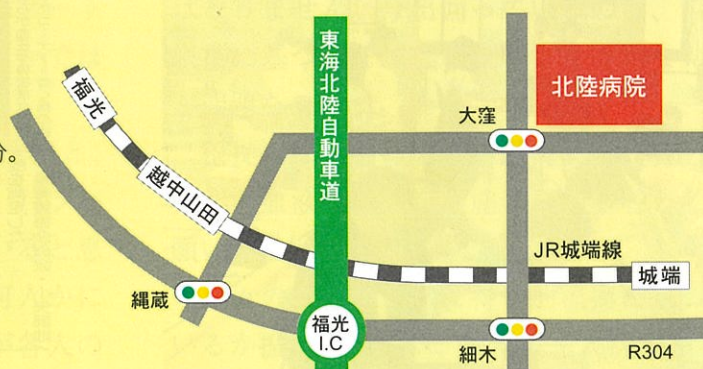
JR 城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティバス

JR 城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・上野・前田・寺井